

平成 18 年度事業報告書

平成 18 年 1 月 31 日から平成 18 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人 医薬品適正使用推進機構

1. 事業の成果

本年度は、一般市民 223 名、薬剤師 186 名、その他の医療従事者 50 名、その他 15 名(計 474 名)に対して医薬品の適正使用に関わる指導者育成講座および市民公開講座を 7 回実施した。こうした実績に基づき、広く国民の生命、健康の保持増進に大きく貢献した。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数(人)	受益対象者 の範囲およ び人数(名)	支出額(千円)
第 1 回	演題: 「薬の適正使用と薬物依存の 話」 鍋島俊隆(NPO 法人医薬品適 正使用推進機構理事長)	平成 18 年 4 月 27 日 (木)19 時-21 時	四谷区民センタ -11 階集会室 4(新 宿区内藤町 87)	8	38(一般市 民 38)	0(共催のため)
第 2 回	演題: 道民公開講座: わかりやすい 「患者向医薬品ガイド」による情報 提供 -副作用の早期発見は、あなた が主役- 黒木正 (日薬連・製薬協医 薬品評価委員会 PMS 部会)、渋谷有 貴 (藤沢市教育委員会教育総務部学 校教育課)、和田ちひろ (NPO 法人 ヘルスケア・リレーションズ 理事 長)、 原健 (独立行政法人 国立病 院機構大阪医療センター 副薬剤科	平成 18 年 9 月 2 日 (土)10 : 30-12 : 35	札幌医科大学臨床 教育棟講堂	5	92(一般市 民 42, 医 療従事者 50)	0(共催のため)

	長) ほか2名					
第3回	演題1:「糖尿病患者における心血管イベントを抑制するために」野出孝一(佐賀大学医学部循環器・腎臓内科教授)	平成18年10月7日(土)15:00-18:00	第二豊田ビル西館8階「第二豊田ホール」	24	159(薬剤師159)	0(共催のため)
	演題2:「Documenting Value -薬剤師の評価の立証-」Donald T. Kishi, Pharm. D. (Clinical Professor of Pharmacy, University of California)					

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(人)	受益対象者の範囲および人数(名)	支出額(千円)
第4回	演題:「くすり・患者・薬剤師を結ぶコミュニケーションツール」佐藤信範(千葉大学大学院薬学研究院医薬品情報学助教授)	平成18年10月18日(火)18:30-20:00	名古屋大学病院講堂	8	86(一般市民86)	3.3
第5回	演題:「くすりの正しい飲み方」講師:鍋島俊隆(NPO 法人医薬品適正使用推進機構理事長)	平成18年11月23日(木)17:	沖縄県国頭村宜名真区公民館	7	34(一般市民34)	0(共催のため)

		00-18:00				
第6回	演題：「くすり・患者・薬剤師を結ぶコミュニケーションツール」講師：鍋島俊隆(NPO 法人医薬品適正使用推進機構理事長)	平成18年11月24日(金)19:00-20:30	沖縄県薬剤師会会館	2	23(一般市民23)	0(共催のため)
第7回	演題：「神経受容体に対するアルツハイマー病治療薬のユニークな作用機序」講師：榎橋敏夫(ノースウエストン大学教授)	平成18年11月30日(木)18:30-20:00	名古屋大学医学部基礎棟1階会議室	4	42(薬剤師27, その他15)	0(共催のため)

(2) その他に係る事業

収益事業は、実施しなかった。